
「暗示」

月乃時計

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

「暗示」

【コード】

N1709BA

【作者名】

月乃時計

【あらすじ】

幼いころかけた自己暗示。その日から続く暗示と言つ名の足枷。

(前書き)

合唱コンクールは文化祭です。

泣いてはいけない。

泣く事は悪いこと。

泣く事はよわいこと。

よわい事はいけない事。強くあらなくてはいけない。

泣いたら、相手に弱みを握られる。

だから。だから、だから……

泣いてはいけない。

* * *

「最優秀賞は……3年……3組！」

体育館にざわめきが走る。悲観の声や歓喜の声がこだまする。

私達3年2組はこの日のために、中学校の合唱コンクールのために短い時間ながら練習をしてきた。“他のクラスには負けない。自分たちのクラスが最優秀賞をとるんだ”という信念をささげて。

クラスがバラバラになったりもした。だからこそ一つにまとまり、達成した時、曲が出来上がった時はどんなに嬉しかっただろうか。……どんなに美しく映っただろうか。

……しかし、ほかのクラスに負けてしまった。当然、クラスは悲しみに包まれた。あのクラスのムードメーカーの男の子さえ、女子で一番明るく、活発な女の子さえ。泣いていたというのに。瞳からぼろぼろと大粒の涙を出して。

・・・そんな中でただ独り。私だけが泣いていなかった。・・・いや泣けなかった。もちろん悔しかった。だけど、泣けなかった。皆と頑張ってきた練習。頑張つて、頑張つてきたのに。どうして？

・・・ふと幼いころ、自分がかけた“暗示（イマシメ）”をおもいだした。幼いがゆえにかけた“暗示（イマシメ）”。いまだにかかっているというのだろうか。

(後書き)

意味が分からない文章ですいません。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1709ba/>

「暗示」

2012年1月4日11時48分発行